



ソトコト 2月号に掲載されました！

「社会や環境がよくなって、そしておもしろい」をテーマとした未来をつくる SDGs マガジン「ソトコト」。学生と地域の関わりを作り出す施設としてなんと6ページも！fil プロジェクトを掲載いただきました。「ソトコト」は1999年の6月創刊以来「スローフード」「ロハス」「ソーシャル」「ローカル」「関係人口」など、社会をリードするさまざまなキーワードを発信しているマガジンです。



▲filの生活や活動について話してくれました！(高崎さん(左)、前田さん(中央)、番留さん(右))



▲お部屋での生活風景を撮影！DIYした自慢のお部屋を紹介してくれました。(高長さん)



▲5階フロアでの撮影中、練習中のギターで演奏してくれました！(番留さん)



◀撮影と取材は一日がかりとなりました。写真撮影の最後はランドリーの前の集合写真撮影！EXPO で作ったタフティングマットやお気に入りのものを持ち寄っての撮影となりました。撮影の間には笑い声があふれる場面も！惜しくも表紙への採用とはなりませんでしたが、素敵一枚になりました！編集長の指図さん、素敵な機会をつくっていただきありがとうございます！ライターの高岡さん、フォトグラファーの高岡さん、本当に素敵な記事と写真、ありがとうございます。



全国の書店やWEBでご購入いただけます！ぜひ手に取ってご覧ください！

卒業に寄せて ~仲間と過ごした fil での思い出~

富山大学大学院理工学研究科 都市デザイン学プログラム修士2年 前田瑠さん

fil に入居して1年3ヶ月ほどが経ち、この度大学院卒業に伴って、fil も卒業することになりました。今回この場をお借りして、fil に住んでみての感想やメッセージを投稿させていただきます！fil に入ってから、自分でも想像できなかったくらい、富山での学生生活を充実させることができました。fil メイトのみんなとの生活が豊かなものだったのはもちろん、活動ではコーヒーのワークショップを企画したり、イベントのチラシをデザインさせていただいたり、自分の興味や得意が活動に活かせるのは、とても貴重な環境でした。そんな中で、fil に入ってから大きな変化は、主に2つあります。1つは、fil メイトや fil スタッフの方々とのお交流のおかげで、以前の一人暮らしの時よりも、笑っているときが増えたことです。fil メイトのみんなに「ただいま」と言ったり、今日あった面白いことを話しながらご飯を食べたり、時には悩みを打ち明けたり、お互いに頑張っていることを応援し合ったり…色々な感情を共有することができたのは、一緒に住んでいたからこそだと実感しました。また fil スタッフの方とも自然と顔を合わせる機会が多く、言わば大家さんと気軽なコミュニケーションが取れる関係って、面白いなと思いつつ過ごしていました。そして、そのような fil の皆さんとのさりげないやり取りから、自然と笑っている状況が増えて、明るく生活を送れたことが、自分の大きな変化かなと思っています。2つ目は、おもしろい大人の方と沢山出会えたことです。今まで接してこなかった方や、直接まちに働きかけをしている方と出会う機会が増えて、常に学びや刺激があり、地域についても自分なりに理解していける場面が増えました。この経験は地元では中々なかったことで、地域社会と関わる楽しさを知ることができました。今後は富山市で働く予定ですが、fil に住んでみて、改めてまちなかに住む居心地の良さを感じたので、fil を卒業してもまちなかエリアに住む予定です。来年度以降も、ふらっと fil の食堂へご飯を食べに行ったり、そのついでにスタッフの方と少しお喋りしたり、fil メイトのみんなとたまに会って近況を報告し合ったり、みんなの活動を何かのかたちで応援したりなど、引き続き fil の皆様と緩やかな繋がりが持てたら嬉しいなと思っています。そして、今までは fil という枠組みのおかげで色々な物事に参加させていただきましたが、今後はある意味その枠組みがなくなるので、何か自分の力でボトムアップ的な活動やまちづくりに関わることも目標の一つです。最後に、楽しい時間を共有してくれて、生活に彩りをくれた fil メイトのみんな、快適な環境や貴重な機会を提供してくださった、fil スタッフの方々をはじめとする富山市民プラザの皆様、本当にありがとうございました。そして、今後ともよろしくお願いします！



▲fil初のイベント準備



▲越中おわら風の盆 見学ツアー



▲企業の社長との座談会

編集後記

「まちなか学生 EXPO 2023」に向けて試行錯誤する学生をそばで見えてきました。当日、学生達の楽しむ姿を見て感動しました。仲間集めをすることから学生たちの力で頑張ってくれたおかげで、初めてまちなかに来たという学生とも出会えました。fil での活動によって、さらにまちなかに関わって活動する仲間が増えることを願っています。

(fil 管理活用グループスタッフ 竹島もえ)



株式会社 富山市民プラザ (fil 管理活用グループ)
〒930-0028 富山県富山市荒町5-5
TEL : 076-464-3936 FAX : 076-464-3937
MAIL : fil-share@siminplaza.co.jp



fil について (HP)



fil 公式 Instagram

fil 通信

VOL.3
2024. 02

第0回目 / 富山まちなか学生 EXPO 2023

シェアハウス完成から1年。
2023年11月26日(日)まちなか学生シェアハウス fil の入居学生が主体となり、まちなかを舞台にした文化祭を行いました。「第0回目」と称した今回のテーマは「再発見」イベントの様子や、今後にかける思いを聞きました。



「第0回目」に込めた想い

総勢約四十名の学生が関わり、まちなかの中心にある賑わい交流広場「ランドプラザ」にて実施した「富山まちなか学生エキスポ 〇二二」。まちなか学生シェアハウスという、まちなかで「学生が暮らす場」が出来上がり、まちなか学生シェアハウスサポートクラブの皆様のご支援によって「学生が活動する環境」が整ったことで、ようやくスタートラインに立ったという意味で「第0回目」とつけました。今回はこの学生が中心となり、富山大学でサークル活動をしている学生や富山調理製菓専門学校が学生が企画し、「第0回目」としては大成功。多くの交流がこのイベントをきっかけに生まれたと思います。来年度以降は、このイベントが県内の学生にとってのまちなかでの「関わり代」となるよう広めていきたいと思います。

詳細は中面にて→



▶北欧雑貨店「テリノグスタイル」さんに依頼し制作したコミュニケーションボード。シェアハウスの生活紹介や、来場者にまちなかのオススメスポットを貼り付けてもらいました。

土地活用モデル大賞「都市未来推進機構理事長賞」受賞記念シンポジウム



▲富山市民プラザの表彰式



▲パネルディスカッション

令和5年度土地活用モデル大賞「都市未来推進機構理事長賞」の受賞を記念して、令和5年12月18日に記念シンポジウムを開催いたしました。令和5年度土地活用モデル大賞の審査員も務められた、井出多加子成蹊大学名誉教授をお招きし、第1部では「空き家問題解消ビジネスモデル構築の必要性」をテーマにご講演いただき、第2部では美濃部富山副市長、久保田教授(富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科)、矢郷副支部長((公社)富山県地建物取引業協会富山支部)を交えて、空き家・空きビル活用でまちに人が住むことについて、fil プロジェクトを事例にパネルディスカッションを行いました。井出多加子名誉教授からは、狭い範囲ではなく、空き家や労働の問題をマクロの視点で見ないと問題の本質が見えてこないといったお話や、今後の日本社会において、不動産の価値を正確に計り、長期修繕の計画やニーズにあったリノベーションを行い提供していくことの重要性などについてお話をいただきました。

能登半島地震について

令和6年1月1日能登半島地震。大変な年明けとなりました。被災された方に心からお見舞い申し上げます。富山市内も、液状化や地面の隆起、建物の破損等の被害がありましたが、fil は大きな被害がなく、1月中旬には帰省していた学生も fil に戻り、地元企業の社長と交流したり、地域作りの会議などにも参加するなど、積極的に活動しています。もちろん「フィルメイト」のお誕生日会や鍋パーティを開いたり交友関係も深めています。2月、3月には地域の飲食店店主による料理教室&交流会を予定している他、地域イベントでの出店なども予定しています。

第0回目 富山まちなか 学生 EXPO 2023



今回は、fil 入居学生から2店舗、富山大学のサークルや団体から9店舗、青池学園富山調理製菓専門学校の学生の合計12店舗が出店しました。ステージでは学生による公開ラジオ収録やバンド演奏など3団体が出演した他、出店者による活動発表なども行いました。当日は天気にも恵まれ、多くのお客様に来ていただくことができ、たくさんのお会いと交流が生まれました。fil に入居している学生だけでなく、まちなかに来たことさえなかった学生たちがこのようにまちなかを舞台に活動することで、まちなかとの素敵な接点ができるのではないのでしょうか。会場全体の装飾は入居学生の前田さんが、遠いところからでも「楽しそう、行ってみたい!」と思ってもらえる空間にしたいという思いからイメージを考え、バルーンアートスタジオブルーラビットさんと打合せを重ね実現しました。



▲前田さんが作成したチラシ (表紙)

EXPO 全体の企画・運営を担当してくれた代表者のコメントをご紹介します!



全体統括 高崎未央さん

初めて fil のみんなと大規模なイベントを企画・運営してみて、コミュニケーションやスケジュール管理に苦戦しながらも楽しく準備を進めることができました。当日は来場者の方楽しんでいただけたのはもちろん、学生からも「もっと fil で何かしたい」、「まちなかでイベントをしたい」という声を多く聞くことができ、当初抱いていた「学生のまちなかでの再発見」という目的を達成できたのではないかと思います。



広告・運営管理 前田瑠さん

初めて fil 以外のスペースを使いイベントを企画させていただきました。時には準備が追いつかなそうな時もありましたが、沢山の方のご協力により、開催する事が出来ました。普段多方面で活躍している学生を集め、学生同士の交流が深まったのはもちろん、沢山の地域の方々やイベントを通じて接することで、まちなかに住む者としての意識がより芽生えました。今後も若者らしさを忘れず、まちなかで様々な挑戦をしたいと思いました。

fil 入居学生がステージ上で fil での生活や活動を話しました!

辻さん:一緒に過ごす仲間が違う学部であるという、他では味わえない経験が fil で味わえています! 山田さん:「ギャラリー・ミレー」の検討会のように、学生の目線でまちなかの課題解決につながる事があれば今後も参加したいです。高崎さん:県内企業の社長さんとお話できる機会も fil にいるからできています。まちなか学生シェアハウスサポートクラブの皆様ありがとうございます。「この EXPO は、今後も継続することに価値があると思う。今後も学生の力や純粋な気持ちでまちなかを舞台に明るい、楽しいイベントや交流をしていきたい。」という気持ちを、話してくれました。



▲(MC: 番留さん(左)、高崎さん(中央)、山田さん(中央)、辻さん(右))

まちなか学生 MEMORY

まちなかをきれいにしよう!とゴミ拾い

11/23

EXPO の事前活動として、fil の学生と出店者が集まり、商店街のゴミ拾いをしました。まちなかを歩くのは初めてという学生もいましたが、会話を楽しみながら活動しました。ゴミ拾いの後の交流会では、和気あいあいと終始楽しそうな雰囲気でした。



思っていたよりゴミは落ちていませんでした。ゴミ拾いした総曲輪通りやその周辺は買物やアルバイトに行くために通る道ですが、普段気づかないところにゴミが落ちていて、ちゃんと見てないことに気づきました。fil 以外の学生とまちなかのことや商店街について話しながら歩いて楽しかったです。

(西堀健人さん)

餅つき体験で年末しめくり

12/30

地場もん屋食堂 fil が開催した餅つきイベントに学生が参加しました! 晴天のなか、「よいしょー」の声を掛け合いながら、賑やかに開催しました。まちなかにお住いの方も多く集まり、学生から積極的に交流している様子もありました。出来立てのお餅を食べながら楽しく談笑する様子も見受けられました。



人生初の餅つきでした。普段できない経験ができてとても楽しかったです。普段関わることがない小さい子や年配の方、地域の方と交流できたいい機会でした。地域の方が餅つきをしている姿を見ただけでも楽しめました。出来立てのお餅がとてもおいしかったです。一番好きだったのは、醤油につけてのりに巻いた磯部餅です。次も機会があればぜひ参加したいです。

(山田創介さん)

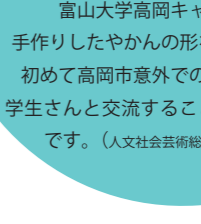
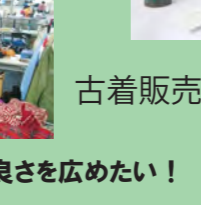
出店学生からのコメント



Fil for
(小柳芽吹・小柳こなつ
社 和奏・中島白音)

みんなで準備し、一体感。

全員で協力して準備するのが大変だった。最後の追い込み準備の時は一体感を感じられて楽しかった。当日は出店することで、地域の人と関わるきっかけが生まれるという新たな気づきがあった。今回出会った人のお店に行ってみようと思う。(fil 中島白音さん)



やかん焼き

他学部生との交流!

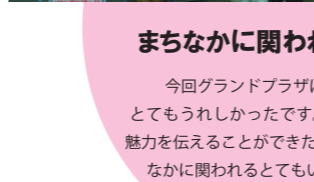
富山大学高岡キャンパスで原型から手作りしたやかんの形をした「やかん焼き」。初めて高岡市意外でのイベントで他学部の学生さんと交流することができて楽しかったです。(人文社会芸術総合研究科 窪田瑠さん)



古着販売

古着の良さを広めたい!

路上で服を売るのでたくさんの人に見てもらえ、接客中でお客さんと話すのが楽しかったです。しかし、古着は少しマイナーなもので、古着についてあまり深く話すことができなかったことが心残りです。ぜひ機会があれば店売りもしてみたいです。(fil 高長佑輔さん)



富大ダムカレー 工事事務所

まちなかに関われてうれしかった

今回グランドプラザに出店する機会をいただけてとてもうれしかったです。たくさんのお客様にダムの魅力を伝えることができたと思っています。また、まちなかに関われるとてもいい機会でした。次回以降もぜひ参加したいです。(富大 都市デザイン学部 松尾蒼平さん)

ふふっと富山の フォトマップ

EXPO だからこそ実現したコラボ

学内やこれまでのイベントと異なり、他団体とコラボする貴重な機会になりました。また、当プロジェクトでもイベント出展を行っています。今回展示できなかった写真もフォトマップや SNS で見ることができのびご愛いただき、ぜひ広めてください。またの機会を楽しみにしています。(富大 都市デザイン学部 小池浩希さん)



まちなかを何気なく歩くときに案内してくれるマップがあればいいなと思っていましたので、このような場に参加できてよかったです。マップはあまり比べて見たことがなかったけど、マップにもいろんな種類があるのだということを知りました。SNS の活用やデジタルに繋げる良さなど、学生の意見を真剣に聞いてくれたので嬉しかったです。

(小柳こなつさん)

鍋を囲んだホットな男子会開催!

1/12

シェアハウス 1 階にて、男子だけの鍋パーティーが開催されました! 男子メンバーだけでごはんを作って食べる会を開催するのは初めてだったとのことで、2 階、3 階から参加者が集まりました。鍋を囲みながら、普段できない男子トークに花を咲かせたようです。男子メンバーの仲がさらに深まった一日でした。



1 月に鍋パーティーをしました! 誕生日に近いメンバーがいたので、誕生日パーティーもかねて行いました。鍋だけでなく、メンバーがアルバイト先でもらってきたくれた惣菜やお刺身など豪華な食卓になりました。笑顔と美味しい食べ物で満ちた、温かいひと時になりました。なかなか集まれる機会もないのですが、またやりたいです。

(増田壮一郎さん)